

【青森県】

青森県立柏木農業高等学校

柏農ねぶた同好会

高校生ボランティア・アワード2024

“ありえない”でつなぐ“ねぶた” ～伝統文化の継承と地域活性化～

■ねぶたとは

ねぶたは、約300年前の「眠り流し」という夏の農作業時に襲ってくる睡魔を追い払う行事が派生し、その後、江戸時代に入り燈籠などが用いられ、徐々に大きくしっかりとしたものへと進化し、そして現在の「ねぶた」へと進化してきたといわれている（諸説あり）。青森ねぶた、弘前ねぶた、五所川原立佞武多の3つは青森三大ねぶたとも呼ばれ、全国的に有名である。

■柏農ねぶたについて

本校がある平川市でもねぶたが行われており、平川ねぶたまつりとして開催され、柏農もこの合同運行に参加している。約20年前に、学校創立80周年を控え、生徒によって立ち上げられ、生徒が一からねぶた絵を手掛けて制作し、囃子も生徒が主体となって行っている。コロナ禍での中断期間があったが、私たち絵師がねぶた絵を手掛けて復活させ、今年度で20周年を迎える。



■柏農だからできる“ありえない”ねぶた

一般的な地域団体のねぶたは、1人の絵師が鏡絵や見送り絵、袖絵などを手掛け、本体の制作を行っている。しかし、柏農ねぶたを手掛けている私たち絵師は、3人とも流派が異なっており、それぞれ分担して手掛けて合作とし、1つのねぶたに3流派を融合させ、前ねぶたも復活させた。地域団体では絶対にありえないことであるが、柏農だからこそ実現できたねぶたである。



■2023年：“ももいろクローバーZ賞”受賞!!



■校内外での活動を展開！注目度UP!!

合同運行への参加以外にも、文化祭での絵の展示や囃子の演奏、学校SNSを活用した魅力の発信、外部コンテストへの挑戦などに取り組んでいる。校外で囃子の演奏を行う機会が増えて、私たちの活動が注目されていることを実感している。また、今年度は一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー様より、廃棄される衣類から繊維を取り出して作った特殊な和紙を提供いただき、今年度の絵の和紙として使用している。絵は、地元の題材を取り入れたテーマで構成を考え、3年間の集大成となるねぶたに取り組んでいる。



■柏農ねぶた同好会

私たちは、自他共に認める“ねぶたばか”である。ねぶたが大好きで大好きでたまらない。この素晴らしい伝統文化を未来に残せるように今後も活動に取り組んでいきたい。

